



2024年9月19日発行 会報第1206号

今週のプログラム

(2024年 9月19日 第1206回例会)

『お月見例会』

担当：山本 友亮 親睦委員長

次週のプログラム

(2024年 9月26日 第1207回例会)

「クラブ活性化を目指して提案例会」

担当：藤田 芳浩 幹事

第1205回例会 (2024年 9月12日) の記録

<会長の時間>

高尾 修会長

9月は基本的教育と識字率向上・ロータリーの友月間です。

日本の識字率は100%とされていますが、実はそうではありません。

100%でない背景には戦中・戦後の混乱の中、教育を受けられなかった人や、病気や不登校などで義務教育期間に十分な学びを得られなかった「形式卒業者」、外国人労働者の増加などがあります。また、近年の日本では、文字自体を読むことは出来ても、文章の意味や内容を理解できない状態である機能的非識字が増えている現状があります。

UNICEFが発表した「世界子供白書2023」によれば、若者(15~24歳)の識字率は世界平均で男子が93%、女子が91%です。特に、途上国での識字率が低く、2010年~2016年で最も低かったニジェール共和国では15%でした。読み書き能力をもたない成人のうち、63%が女性だと言われており、国だけでなくジェンダー間の格差も大きな問題です。

【紛争による影響・貧しい家庭環境・女性に不利な慣習や差別】

識字率の低さには、色々な原因が存在しています。しかし、文字を読み文章を理解する力は生きるために必要です。世界中のロータリーファミリーは、奨学金や教材、学用品の寄贈などさまざまな奉仕プロジェクトを通じ、世界中で教育支援を行っています。

皆で、「基本的教育と識字率」の向上にマジックを起こしましょう。

2024年9月7日に、財団セミナーに参加してきました。財団寄付の要望がありました。

一人当たり、【年次基金寄付】150ドル以上・【ポリオプラス基金寄付】50ドル以上

【恒久基金寄付】30ドル以上をとのことでした。これらの寄付で以下の奉仕活動に使われます。

- (1) 地区補助金は、地元や海外で行う小規模で短期(1年以内に終了)の奉仕活動
- (2) グローバル補助金は、海外における大規模で継続性がある活動(3万ドル以上)に活用。
- (3) ポリオプラス基金は、ポリオ根絶に活用されます。

現在、ポリオが発生している国はパキスタンとアフガニスタンです。

2024～2025年度 委員会事業計画

[S.A.A.]

S.A.A. 水本 徹

今年度より、出席率向上の為に月2回「昼例会」の開催を行います。従来の夜例会とは違った雰囲気のを皆様と楽しみながら、昼夜問わず 皆様が出席して頂けるような楽しい例会を目指してまいります。

<プログラム>

プログラム担当 藤田 芳浩

従来より申し上げていますが、今年度のプログラムは、様々な条件を勘案して柔軟に変更したいと思っています。その他いくつかのご提案が有りますので、下記に整理いたしました。

1. プログラムは、柔軟に変更する事を前提とします。

*各会員の出席できる日程を優先して例会内容を考慮します。

2. 木曜日開催の定例例会以外に、開催日を日曜日・祝日に設定した「移動例会」・「グルメ例会」等を企画して、会員の参加者増及び会員以外の参加を募り会員増強に繋げる！

*高尾会長が今年度ご提案されている「出会いの場」を多く作ってゲスト（ロータリー会員以外）との接触を広げていく事を目的とする！

*山本 友亮親睦委員長を中心にして、親睦例会の開催日と内容を具体化して行きたいと考えています。

[クラブ奉仕委員会]

委員長 山本 友亮

今期のクラブ奉仕委員会としましては、昨年の藤田会長年度から高尾会長年度への移行期に始まり、クラブ運営の在り方の改革に則ってバックアップをさせていただきながら、より良い方向へもっていけるお手伝いができればと、考えております。

会員皆さまからのご意見をもとにいろいろとご提案をいただき着実に実行できることから変えるべきことは変えていく、変えてはいけないことは守り抜くという高尾会長のお考え通りに、変えて良いことは積極的に変えていくことのお手伝いは頑張りたいと考えております。

まず、7月新年度から始まります昼例会の導入ですが、会員皆さまのご意見なども伺いながらより良い方向にもって行き、少しでも今までの夜例会になかった楽しさを生み出せれば、と考えております。出席率の向上も課題として、昼例会・夜例会と合わせて70%超えをできるように、高尾会長・藤田幹事そして会員皆さまのご意見を参考にして改革元年を進めていければ、と考えております。昼例会でしか出席できない会員さん向けに昼例会の実施、交通の便が悪い例会場へは会員さんのお力添えなど、現状を看過せず変えて良いものは変えていく、可能ならばやれることをやっていく、という考えで進みたい、お手伝いしたいと考えております。

今後ともご意見などよろしくお願い致します。

<親睦委員会>

委員長 山本 友亮

昨年度は恒例のお楽しみ例会・お月見・X'mas・新年・お花見・創立記念例会は実施できました。また、藤田会長主催の京都日帰り旅行も実現していただきました。

今年度はお月見例会とお花見例会につきましては時期にとらわれず、新しい企画にて実施させていただきたく思っております。

お月見例会の時期には少し遅らせて食欲の秋にちなみグルメ会にておいしいものを食べに行く親睦会などを企画して、木曜日の例会日にとらわれず少しでも多くの会員様に参加いただける日程で実施できればと思っております。

<会員(戦略)委員会> (増強プロジェクト・選考・分類)

委員長 藤田 芳浩

会員(戦略)委員会は、その内容を増強・選考・分類と追加付記されていますが、その一番の目標は、もちろん「増強」です。増強つまり会員数を増やすことが無ければ、その後の選考も分類も成り立ちません。現状の「千里メイプルロータリークラブ」にとって緊迫の課題といえます。2024-2025年度高尾 修会長は、様々なご提案をされています中で、「多くの方々との出会いを大切にして温かい魅力のあるクラブになるよう邁進いたします」とその決意を発信されています。つまり「出会いの場」を多く作っていく事が増強に繋がると確信しています。しかもその「出会いの場」には、「ロータリー会員以外の方々」が気軽に参加して頂き「千里メイプルロータリークラブ」の魅力を感じると同時にロータリークラブの奉仕活動に興味を持って入会して頂ける様な「出会いの場」となることを目指します。

その為には、「親睦委員会」山本 友亮委員長と手を携えて皆様に楽しんで頂ける「親睦活動」をたくさん企画・実行していく事をお約束いたします。皆様からの「ご提案」も非常に大切ですので、「ご提案」宜しくご協力お願い致します。

また、「会員増強」に対する会員皆様との意思を共有して今後の「増強活動」の強化を進めて行きたいと思っておりますので、会員皆様のご意見を頂く機会を改めて作っていきますので宜しくお願い致します。

<情報委員会>

委員長 山本 雅之

昨年度に引き続き、今年度も事務局より、対外的に発信するホームページの作成や、会員向けに月に1度発行される「ガバナー月信」・「ロータリーの友」で地区やRIの情報を電子版でお届け致します。

また、例会後の電子化された会報も、より早く、より見やすく、より充実した内容で会員の皆さまに発行していただきます。

追加事項

先日 メーリングでご報告致しましたように「千里メイプルロータリークラブ」のHPが、2024-2025年度の内容に更新されていますので、会員皆様には是非ともご覧いただきたくご報告致します。

[職業奉仕委員会]

委員長 高尾 修

ロータリークラブにおいて職業奉仕は、会員が職業を通じて社会に貢献することだと言われています。会員の皆様方は、異業種ですので色々な職業を通じての奉仕活動をお聞きしたいと考えます。昨年は、職場訪問として京都の下鴨神社（しもがも）と上賀茂神社（かみがも）の参拝をしました。今年度も、職場訪問を開催し職業奉仕の理解を深めたいと思っています。

[社会奉仕委員会]

委員長 山本 雅之

3年前に始まった放課後キッズ（子ども食堂）への支援として、資金面での援助はしてきたものの、現場での奉仕活動には至りませんでした。

今年度は、資金面での援助を引き続き行うことに加え、比較的コロナの影響も少なくなってきたので、会員の皆様とともに、実施日に訪問して、少し汗を流す協力体験ができればと思っています

[国際奉仕委員会]

委員長 水本 徹

本委員会は「ロータリー財団委員会」「米山奨学会委員会」「国際奉仕プロジェクト委員会」「国際交流・青少年委員会」と4つの委員会で構成されており例年通りの活動を各委員長の下に進めて参りますので、ご協力よろしくお願ひします。

<ロータリー財団委員会>

委員長 水本 徹

2024-25年度のロータリー財団寄付目標として

「ポリオプラス基金」 \$ 50/人

「年次基金」 \$ 150/人

「恒久基金」 \$ 30/人

と決定しておりますので皆様のご協力宜しくお願ひ致します。

<米山奨学委員会>

委員長 渡辺 了允

当クラブ 17代目の米山奨学生として、2024年4月よりベトナム出身のグエン カム フンさんを迎えています。2024年4月1日～2025年9月30日までの1年半、クラブの様々な例会に参加していただきます。グエン カム フンさんは、大人しく真面目で清楚な方ですので、クラブにきっと良い新鮮な刺激を与えて下さると楽しみにしています。共に成長出来るような関係を作っていきたいと思ひます。カウンセラーの山本友亮会員とも良い距離感を作っておられるので有意義な時間を過ごしていただけると期待しています。

会員の皆様からのご指導もよろしくお願ひ致します。

<国際奉仕プロジェクト委員会>

委員長 水本 徹

当クラブの主軸であります山本加奈子教授の「ラオス保健衛生支援活動」の継続を考えていますが、山本教授の能登半島地震など国内での災害ボランティア活動への変更時も全面的に支援を行って参りたいと思います。

<国際交流・青少年委員会>

委員長 石田 夕子

2023-2024 年度のプログラムでも 11 月 9 日に関西大学 国際部の留学生との「交歓会」を開催致しました。関西大学 国際部 山本 英一教授をはじめ劉 泓子(リュウ ヒロコ)様 楊 拓(ヨウ カク)様 王 怡静(ワン イージン)様 ヤンセン ラマプテラ様の 4 名の留学生と 2023 学年度 米山 奨学生 グエン キム フン様を加えて賑やかな交歓会となりました。

今年度 2024-2025 年度のプログラムでも 11 月 7 日を予定しています。今年度のご担当者は、以前から御担当して頂いていた高田様から鄭(テイ)様に変更されましたとのご連絡を頂いていますので、今後具体的な打ち合わせをしたいと思います。事前に提示する「エントリーシート」の内容等に付きましても会員皆様のご意見等をお聞きして充実した「交歓会」を開催したいと思いますので、皆様ご協力宜しくお願い致します。

[青少年奉仕委員会]

委員長 高田 宗慶

2024 年 8 月 1 日例会で「一般社団法人 放課後 Kids」代表 青野 栄子様から現状の活動報告と今後の課題について詳しいお話を頂く予定となっています。2017 年から活動されて 7 年目に入っておられます。当クラブでは、社会奉仕委員会と協力してさらに子どもたちの【居場所づくり】【食の支援】【学習支援】を推進するための協力を実行していきたいと思っています。その為にも自分たちの目で現場を確認して何が必要か?何が支援出来るのか?を具体的に把握する必要があると考えますので是非とも会員の皆さんと共に、「フリースペース(吹田市江坂)」「子ども食堂(枚方市牧野)」を訪問する企画を実現したいと思います。それが今後の支援の第一歩となると考えています。2024 年 9/14~9/16 開催「秋の RYLA セミナー」への登録・支援を従来通り致します。

[会計]

担当 柳原 健治

今年度は、これまでと少し変わった取り組みを考えています。それは、「熱心な会員の皆様」の発案に基づき、「クラブ会費の低減」に取り組む事があります。つまり、年会費自体を低く抑えて、食事代の実費を四半期毎に、ご請求するという方法に変更するというものであります。この結果、新規会員候補様に入会勧誘するに当たっても、今まで以上に「安い」会費である事をアピール出来るからであります。また、この他、例会時間をこれまでの「夕方」だけでなく、「昼」に実施することも新たに実施しております。この結果、今まで以上の会員の出席が見込めるものと確信しております。このような施策を取ることで、会員増強に繋がればよいと考える次第であります。会員の皆様には、ご協力のほどよろしくお願い致します。